



食品・ウェルネス産業の振興と健康寿命の延伸による
県民幸福度日本一を実現

静岡ウェルネスプロジェクト

静岡県では令和2年度(2020年度)から「フーズ・ヘルスケアオープンイノベーションプロジェクト」を立ち上げ、機能的表示食品や化粧品の開発などを推進するとともに、新たなヘルスケアビジネスを促進し、県民の健康長寿の延伸につなげてまいりました。

令和7年度より新たにスタートする「静岡ウェルネスプロジェクト」では、フードテック等を活用した未来型食品の開発やウェルネス産業の創出を支援し、食品・ウェルネス産業の発展と更なる健康寿命延伸を図り、県民の幸福度日本一を目指します。



第一期 静岡ウェルネスプロジェクト

静岡県では、フードテック等を活用した未来型食品の開発やウェルネス産業の創出を支援し、食品・ウェルネス産業の発展と更なる健康寿命延伸を図る新プロジェクト「静岡ウェルネスプロジェクト」(令和7～10年度)を立ち上げ、県民の幸福度日本一を目指します。

静岡ウェルネスプロジェクトの概要

静岡県のポテンシャル	健康寿命日本一 男女とも全国1位	豊富な食材 439品目の 農林畜水産物	多彩な観光資源 日本有数の温泉源泉、 日本一の宿泊施設数	知の拠点の集積 静岡大学・県立大学 農研機構等	多彩な企業集積 食料品等の付加価値額 全国1位
プロジェクトの取組	計画期間	令和7年度～令和10年度(4年間)	支援領域	食品・ウェルネス関連産業、健康づくり	
	成果指標	静岡県の健康寿命		<目標> 平均寿命の上回る伸び	
		プロジェクト関連製品・サービスの総売上金額		<目標> 30億円(R7～R10累計)	
目指す姿	県民幸福度日本一(食品・ウェルネス産業の振興、県民の健康寿命の延伸)				
施策展開	食品・ウェルネス産業の振興(経済産業部)		県民の健康寿命の延伸(健康福祉部)		
	柱Ⅰ:研究開発	アカデミア、研究機関等の連携によるシーズ探索・活用	柱Ⅲ:販路開拓・拡大	アップサイクル製品等の出口戦略強化	
		・フードテックシーズ探索・可能性調査の推進 ・次世代産業プロジェクト関連情報の推進 ・健康・医療データ等の活用・検証の推進		・出口を持つ企業を核としたビジネスモデルの構築 ・マーケットインの視点を踏まえたマーケティングの推進	
	柱Ⅱ:事業化・異業種連携	スタートアップ等との連携による製品・サービスの開発	柱Ⅳ:人材育成	食品・ウェルネス産業の地域経済を牽引する中核人材の育成	
		・スタートアップと地域企業の共創の仕組づくり ・未来型食品の開発支援 ・地域資源を活用した静岡県ならではのサービス等の創出		・フードテック、食の社会課題解決等に資する人材の育成 ・パーソナライズ、エビデンス等の専門性を持つ人材の育成	
		柱Ⅴ:健康づくり	社会健康医学研究の推進や社会実装		
			・KDBデータの活用した健康長寿研究の推進 ・研究成果の社会実装を踏まえた実証事業の実施		

未来型食品とウェルネス産業の定義

未来型食品

定義 高付加価値化と食品ロス、食に関する社会課題解決の両立を目指すため、フードテック等を活用した食産業の未来を見据えた食品

フードテック = 食 × テック(先端技術) テクニック(伝統製法)

主たる物 食のアップサイクル、完全栄養食、防災食、代替肉、発酵食、ヴィーガン、パーソナライズドフーズ ほか

市場規模 フードテック市場規模の予測

2020年 24兆円 ×14倍 2050年予測 280兆円

2020年: 食 17.5兆円、住 0.4兆円、総 2.4兆円、遊・学 12.7兆円、民間保険 15.6兆円、健康経営 3.7兆円、運動 2.6兆円、介護 6.6兆円、食料品・サービス 13兆円

連携 食と親和性の高い先端産業創出プロジェクトと連携して、フードテックを活用した食品開発を支援

連携先: CNF、農研機構、静岡ウェルネスプロジェクト、NOFAC、DICTOR VALUE、静岡大学、農研機構、CNF、NOFAC

ウェルネス産業

定義 身体的・精神的・社会的健康を基盤に、より健康で輝かしい人生を志向する状態を支援する前向きなビジネス領域(公的医療保険・介護保険は対象外)

主たる物 ウェルネスフード、ウェルネスツーリズム、予防医療、介護医療、フィットネス、ビューティー、リラクゼーション、睡眠、健康経営 ほか

市場規模 ウェルネス(ヘルスケア)市場規模の予測

2020年市場規模 24兆円

2050年市場規模 77兆円

2020年: 食 8.3兆円、住 0.4兆円、総 2.4兆円、遊・学 12.7兆円、民間保険 15.6兆円、健康経営 3.7兆円、運動 2.6兆円、介護 6.6兆円、食料品・サービス 13兆円

連携 各部局との連携により事業化を推進

領域	主担当部局
ウェルネスフード、予防医療、介護医療、ビューティー、リラクゼーション、睡眠、健康経営、フィットネス、ウェルネスツーリズム等	経済産業部 健康福祉部 スポーツ・文化観光部

コーディネーターによる相談と支援

食品・ウェルネスの分野に精通したコーディネーターを設置し、製品開発から販路開拓にわたる支援及びマッチング支援を行っています。

○食品関連

アップサイクル製品開発の相談、機能性表示食品の相談から届出、食品関連助成事業の有効活用の支援等を行います。

○ウェルネスビジネス関連

健康の保持・増進、介護予防など健康寿命の延伸に資するウェルネスビジネスの事業化や関連助成事業の有効活用の支援等を行います。

○販路開拓

プロジェクト成果品の販路開拓や展示会展展の案内など、販売までの支援を行います。

静岡ウェルネスプロジェクトの成果指標・活動指標

区分	指標	現状値	目標値	
成果指標	健康寿命(健康寿命と平均寿命の差)	男性+0.4歳 女性+0.35歳 (R1とR4比較)	平均寿命を上回る 健康寿命の延び	
	プロジェクトの事業化・販路開拓等支援による 製品・サービスの総売上金額	23億7,500万円 (R2~R5累計)	30億円 (R7~R10累計)	
活動指標	産業振興	産学官連携・次世代産業プロジェクト間 連携等による試作品件数	72.0件/年 (R3~R6見込み平均)	80件/年
		フードテック活用や市町の健康課題 解決等に資する事業化件数	64.0件/年 (R3~R6見込み平均)	70件/年
		静岡ウェルネスフォーラム会員数	1,795社 (R6.12月時点)	2,400社 (R10)
		展示商談会等による商談件数	965件/年 (R4・R5平均)	1,000件/年
		未来型食品の開発、新たなウェルネス サービスの創出に資する人材育成件数	91人/年 (R2~R5平均)	100人/年
	健康寿命の 延伸	脳卒中による年齢調整死亡率 (人/人口10万人)	(男性)110.5 (女性)68.9 (R5)	(男性)101.4 (女性)58.4
		高血圧症有病者の割合	(男性)41.9% (女性)30.8% (R3)	(男性)38.1% (女性)28.3%
		特定健診受診率	59.2% (R4)	70.0%以上
		ふじのくに健康づくり推進事業所数	6,839事業所 (R4)	10,700事業所
		ヘルシーメニューの提供を行っている 特定給食施設の割合	78.1% (R4)	79.4%

食品関連産業支援

食品関連産業の活性化を図るため、フードテックの活用や科学的根拠に基づく高付加価値製品の開発、企業の販路開拓、産業を担う人材育成や関連情報・成果の情報発信などを行っています。

▶ 未来型食品創造研究会

食品関連企業等で構成する「未来型食品創造研究会」を立ち上げ、企業同士の連携を基盤に、フードテック等の先端技術を活用した未来型食品の新商品開発を目指します。

▶ 未来型食品事業化促進支援

フードテック等の先端技術を活用し、食品ロス等の社会課題解決にも寄与する新しい食品開発や商品の事業化に向けた取組を行う中小企業者等を支援します。



未利用食材を使用した
アップサイクル製品
(過去助成金成果)



食のアップサイクル相談窓口

▶ 展示会等への出展支援

プロジェクトで生まれた製品や県内企業の特徴ある優れた製品の販路開拓を進めるため、首都圏や県内で行われる展示会や商談会への出展を市町と連携して支援します。



展示会等への出展支援



食品バイヤーとの商談会

▶ 総合食品学講座～未来型食品創出教育プログラム～

安全・安心な食品製造と国際競争力のある商品を開発する人材育成を目的として、食品原料から消費者対応まで、企業が必要とする知識を講義・実習・グループワークを通じて総合的に学びます。各分野に精通した大学の教授や民間企業の方を講師としてお招きし、本講座を開講しています。



総合食品学講座 グループワーク

▶ 科学的根拠に基づく製品開発

食品の機能性表示制度に対応するため、静岡県立大学等と連携し科学的根拠を立証するヒト試験やシステマティックレビューを実施する体制を構築しています。

ウェルネス関連産業支援

より豊かで輝く人生を送ることができるように、心身の健康保持・増進、介護予防など健康寿命の延伸に資するウェルネスビジネスの事業化支援などを行っています。

▶ セミナー・フォーラムの開催

産学官金のネットワーク構築と、交流・ディスカッションを通じたオープンイノベーションを促進するためフォーラム・セミナーを開催します。



企業交流セミナー

▶ 分科会の運営

ウェルネスビジネスの事業化可能性を高めるため、特定テーマに沿った研究開発や異業間のネットワーク構築、ビジネスマッチング等を促進する分科会を運営します。
分科会を通して、新規事業創出や既存事業の新たな展開の可能性を模索し、社会実装にむけて支援します。



実践講座・ワークショップ(過年度実施)

▶ ウェルネスビジネスの事業化促進支援

ウェルネスビジネスの創出を促進するため、ウェルネスサービスや商品の事業化に向けた取組を行う中小企業者等に対して事業化可能性調査・実証等の実施を支援します。



咀嚼アプリの開発(過去助成金成果)

▶ ウェルネス・フーズEXPOの開催

ウェルネスおよび食品分野に関する県内外の先端技術を集めた展示会を実施し、スタートアップと地域企業等とのマッチングを推進します。



ウェルネス・フーズEXPO

静岡ウェルネスプロジェクトの助成制度

① 未来型食品等開発助成金

対象事業 食品・化成品(食品素材を使用した場合のみ)において、フードテック等の先端技術を活用し、食品ロスや環境負荷等の食に関する社会課題解決に寄与するものや、機能性(栄養、感覚、健康維持)の向上に向けた試作品開発・実証試験を行う事業

助成率 対象経費の1/2以内

助成限度額 1年間の場合、2年計画の場合、ともに200万円以内

② 県産加工食品海外展開支援事業助成金

対象事業 県産加工食品の海外向け商品開発及び販路開拓・拡大を目的とした、海外で開催される展示会等への出展や具体的な販路開拓・拡大を行う事業

助成率 対象経費の1/2以内

助成限度額 1年間で150万円以内

③ フードテックシーズ活用可能性調査助成金

対象事業 大学等が持つフードテックのシーズを活用し、事業化に向けた可能性調査を行う事業(シーズ探索を含む)

助成率 対象経費の2/3以内

助成限度額 1年間で100万円以内

④ ウェルネスビジネス事業化促進事業助成金

対象事業 新たなウェルネスサービスや製品の事業化のために行う可能性調査又は実証

助成率 (可能性調査)対象経費の2/3以内 (実証)対象経費の1/2以内

助成限度額 (可能性調査)1年間で100万円以内
(実証)1年間で200万円以内、1年間で500万円以内(※大学連携案件に限る)

静岡ウェルネスフォーラム メール会員募集

登録・会費無料

助成事業や展示会・商談会・セミナー等の開催など役立つ情報をお届けします。

企業・個人を問わずどなたでも登録可能。当センターのホームページからご登録ください。



公益財団法人静岡県産業振興財団 ウェルネス・フーズ産業支援センター

〒420-0853 静岡県静岡市葵区追手町44-1 静岡県産業経済会館2階

TEL 054-254-4513 FAX 054-253-0019

E-mail newfoods@ric-shizuoka.or.jp

HP <http://www.fsc-shizuoka.com>

※令和7年度時点の事業内容を掲載しています。最新の情報は、当センターまでお問い合わせください。

ウェルネス・フーズ産業支援センターについて

